

## 1. WBSCとJSAの記帳の違い【記号】

別紙

## 2. WBSCとJSAの記帳の違い【考え方や記帳方法等】

### (1) テンポラリーランナー

テンポラリーランナーの記録は、全てキャッチャーにつける。

### (2) 自責点

①無死または一死で、一塁がエラー的要素（エラー、暴投、捕逸等）で空いたために打者が三振暴投などで出塁できた時は、特例として非自責点の走者とする。

②①のタイミングで先行の走者が得点した場合は、特例として非自責点とする（復活自責点となる可能性は残る）。

### (3) イリーガルピッチ等

①走者がいないケースでは、イリーガルピッチとしないで1ボールとし、投球数にカウントしない。

②ペナルティストライクも投球数にカウントしない。

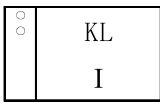
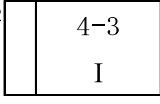
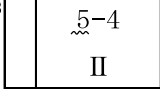
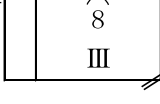
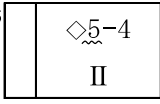
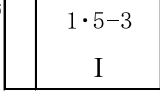
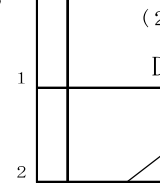
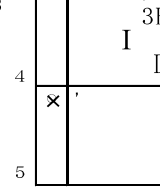
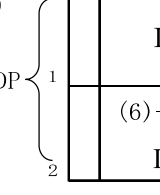
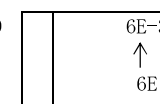
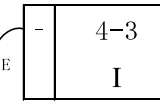
### (4) その他

①守備のイニングピッチ（出場回数）を守備位置ごとに記録する。

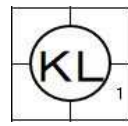
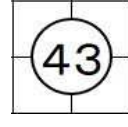
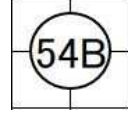
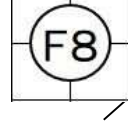
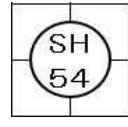
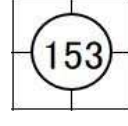
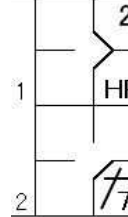
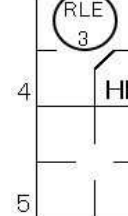

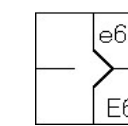
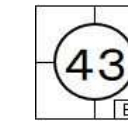
②ダブルプレーとなる打撃を行った打者に、併殺打を記録する。

③故意四球は、通常の四球と分けて記録する。

## JSA

- 1  見逃し三振  
第3ストライクを正しく捕球(一死)
- 2  二塁ゴロを一塁に送球し、アウト(一死)
- 3  三塁手前のバントを一塁カバーに入った二塁手に送球し、アウト(二死)
- 4  中堅フライを捕球し、アウト(三死)
- 5  三塁手前の犠牲バントを一塁カバーに入った二塁手に送球し、アウト(一死)
- 6  投手に触れたゴロ(ディフレクト)を三塁手が捕って、一塁に送球し、アウト(一死)  
※投手がライナー、フライに触れ、バウンドした後  
ライナー 1・5-3  
フライ 1・5-3
- 7  左前安打により、一塁走者(1番打者)は二塁進塁
- 8  5番打者の初球(ストライクをコール)、離塁アウト(一死)  
刺殺は、アウトのコールがあった時、走者に最も近い野手に与える  
※この投球はカウントしないため、「x」を記入する
- 9  無死、遊撃ゴロ  
6-4-3のダブルプレイ  
(フォースダブルプレイ)
- 10  遊撃ゴロをファンブルした後、一塁への送球が逸れ、打者走者が二塁まで進塁  
※ダブルエラー
- 11  初球、容易なファウルフライを三塁手が落球(失策)  
※打撃時間の延長  
2球目、セカンドゴロでアウト(一死)  
※落球による失策は取り消さない

## WBS

-  見逃し三振(Strikeout Looking)  
※右下に累計三振数を記載する  
※投手が変更になった場合  
投手毎に集計する
-  アウトになるプレイはサークルの中に記入する
-  B(Bunt)
-  F(Fly)  
1本の斜線を入れて三死
-  犠牲バント(Sacrifice Hit bunt)
-  153
-  死球(Hit by Pitch)  
/ 安打(単打)  
# 二塁打  
≠ 三塁打
-  RLE(Runner Left Early)  
5 5番打者の時の離塁アウト
-  GDP(Grounded into Double Play)  
フォース状態でのゴロによる併殺打をGDP表記する  
サークル同士を直線でつなぐ
-  余塁を与えた送球エラー(extra base)  
小文字のeになる  
一連のプレイとしてボックスを線でつなぐ
-  ゴロ捕球エラー(Fielding Error)  
ボックス右下に E5